

## 参考1 重点地区の耐震化に関する戸別訪問およびアンケート調査の結果(概要)

### (1) 目的

特に耐震化の促進が必要な重点地区において、旧耐震基準の木造戸建て住宅の居住者に対して戸別訪問を実施し、木造住宅の耐震化支援事業の説明、アンケート調査、耐震に関する相談等により耐震化に関する課題や要望を把握し、耐震化のさらなる促進を目的とする。

### (2) 対象住宅

品川区住宅耐震化緊急促進アクションプログラム・重点地区(二葉一丁目、二葉二丁目、東大井六丁目、中延四丁目、中延六丁目、旗の台五丁目、荏原三丁目、戸越三丁目、小山三丁目、小山四丁目)における旧耐震基準の木造戸建て住宅と推定される住宅

### (3) 実施時期

令和4(2022)年度～令和6(2024)年度

### (4) 実施方法

戸別訪問によるヒアリングまたはアンケート投函

### (5) 調査結果

回答数 321 件／対象住宅数 1,134 件＝回答率 28%

## ○調査項目

【設問1 耐震化個別相談会で参加しやすい場所】令和4年度、令和5年度、令和6年度品川区が耐震化に関する個別相談会を行う場合、あなたが参加しやすいと思う場所はどちらですか。(複数選択可)

- ①きゅりあん      ②地域センター      ③町会会館      ④中小企業センター
- ⑤文化センター      ⑥区立学校      ⑦商店街      ⑧シルバーセンター
- ⑨その他

【設問2 情報を集める方法】令和4年度

情報を集める方法として、日ごろからよく活用するものはどれですか。(複数選択可)

- ①ふれあい掲示板      ②町会掲示板      ③電車広告      ④バス広告
- ⑤FMしながわ      ⑥ケーブルテレビ品川      ⑦SNS      ⑧その他

【設問3 耐震化で困っていること】令和5年度、令和6年度

住宅の耐震化を検討するうえで、困っていることはございますか。(複数選択可)

- ①何からはじめたらよいかわからない
- ②相談先がわからない
- ③相続関係で話がまとまらない
- ④借地または借家関係で所有者の了解が得られない
- ⑤多忙のため手続等に時間をかけられない
- ⑥その他

【設問4 耐震化支援制度の認知度】令和4年度、令和5年度、令和6年度

耐震に関する支援制度で、知っているものはどちらですか。(複数回答可)。

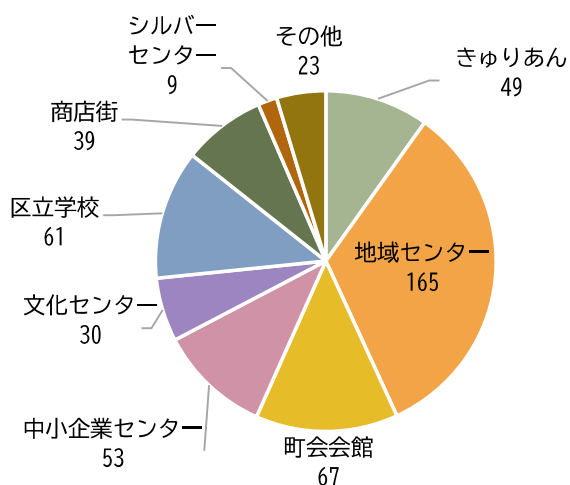
- ①住宅相談会      ②無料耐震相談会
- ③無料の簡易診断      ④耐震診断の助成
- ⑤耐震改修工事の助成      ⑥除却工事の助成
- ⑦品川シェルター設置支援      ⑧不燃化特区支援
- ⑨耐震改修した場合の減税制度

## ○集計結果

### 【設問1 耐震化個別相談会で参加しやすい場所】令和4年度、令和5年度、令和6年度

参加しやすい場所	回答数	割合
①きゅりあん	49	10%
②地域センター	165	33%
③町会会館	67	14%
④中小企業センター	53	11%
⑤文化センター	30	6%
⑥区立学校	61	12%
⑦商店街	39	8%
⑧シルバーセンター	9	2%
⑨その他	23	5%
回答数	496	100%

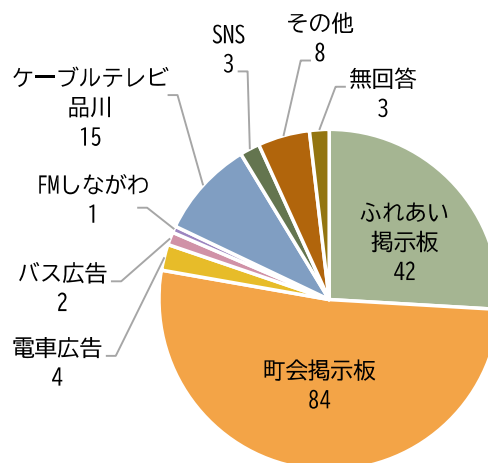
(割合の端数は四捨五入)



### 【設問2 情報を集める方法】令和4年度

情報を集める方法	回答数	割合
①ふれあい掲示板	42	26%
②町会掲示板	84	52%
③電車広告	4	2%
④バス広告	2	1%
⑤FMしながわ	1	1%
⑥ケーブルテレビ品川	15	9%
⑦SNS	3	2%
⑧その他	8	5%
(回答なし)	3	2%
回答数	162	100%

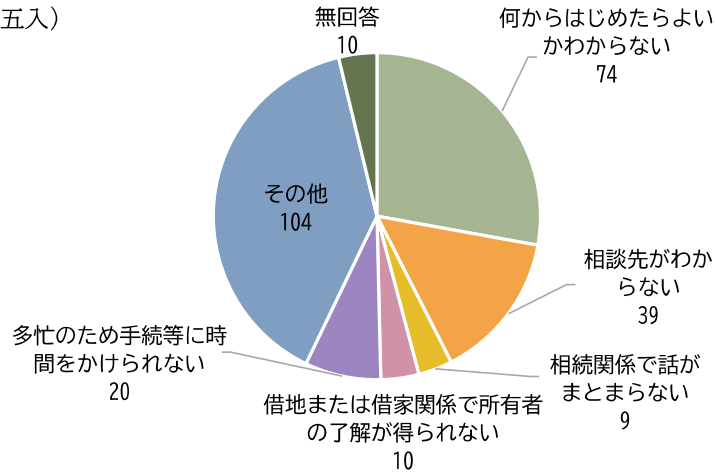
(割合の端数は四捨五入)



【設問3 耐震化で困っていること】令和5年度、令和6年度

耐震改修を実施しない理由	回答数	割合
①何からはじめたらよいかわからない	74	28%
②相談先がわからない	39	15%
③相続関係で話がまとまらない	9	3%
④借地または借家関係で所有者の了解が得られない	10	7%
⑤多忙のため手続等に時間をかけられない	20	8%
⑥その他	104	39%
(回答なし)	10	4%
回答数(複数回答あり)	266	100%

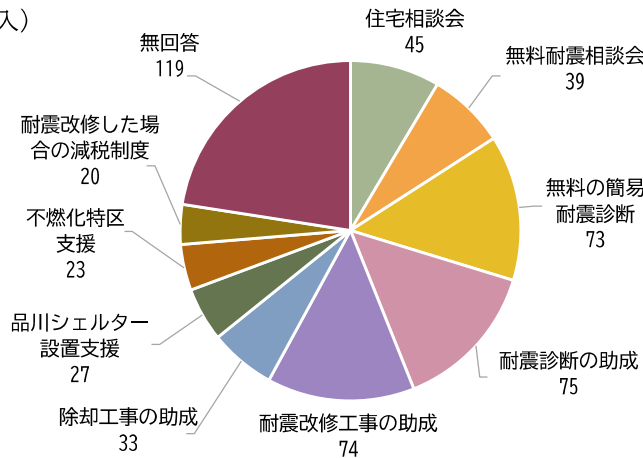
(割合の端数は四捨五入)



【設問4 耐震化支援制度の認知度】令和4年度、令和5年度、令和6年度

助成制度で知っていたもの	回答数	割合
①住宅相談会	45	9%
②無料耐震相談会	39	7%
③無料の簡易耐震診断	73	14%
④耐震診断の助成	75	14%
⑤耐震改修工事の助成	74	14%
⑥除却工事の助成	33	6%
⑦品川シェルター設置支援	27	5%
⑧不燃化特区支援	23	4%
⑨耐震改修した場合の減税制度	20	4%
(回答なし)	119	23%
回答数(複数回答あり)	528	100%

(割合の端数は四捨五入)



参考2 住宅・建築物耐震化支援事業の実施状況（令和7(2025)年3月31日現在）

区分	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計		
簡易診断	事務所協会								64	44	18	4	11	18	12	27	11	11	18	14	21	11	284		
診断	木造	戸建て(旧耐震)	40	60	49	62	78	35	34	151	172	125	15	30	34	11	17	13	6	9	5	9	38	993	
		戸建て(新耐震)																					1	15	16
		共同住宅(旧耐震)				0	0	1	0	18	36	37	6	3	8	3	2	0	1	2	0	0	2	119	
		共同住宅(新耐震)																					0	0	0
	非木造住宅				0	0	0	1	4	4	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	12	
	マンション				0	5	1	0	6	5	6	5	2	8	2	3	1	1	2	2	4	4	4	57	
	特定緊急				0	0	1	0	1	55	51	41	10	3	1	1								164	
	一般緊急				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6		
	町会会館								1	2	0	1	9	2	0	0	0	1	1	0	0	1	18		
	計		40	60	49	62	83	38	35	181	274	220	68	54	55	17	23	16	12	16	8	14	60	1385	
補強設計	木造	戸建て(旧耐震)							22	49	25	13	19	19	9	9	4	2	2	2	4	2	181		
		戸建て(新耐震)																				0	3	3	
		共同住宅(旧耐震)							2	4	8	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22	
		共同住宅(新耐震)																				0	0	0	
	非木造住宅							1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	分譲マンション							0	2	0	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	11		
	特定緊急							0	0	5	12	14	1	4	5	6	4	1	1	1	1	1	55		
	一般緊急							0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3			
計		0	0	0	0	0	0	25	56	38	27	37	25	14	17	10	7	5	3	6	7	277			
改修工事等	戸建て	改修(旧耐震)			5	12	8	14	14	9	30	29	17	19	14	11	6	6	0	1	2	5	0	202	
		改修(新耐震)																				0	3	3	
		建替				0	10	15	12	26	60	47	31	1										202	
		除却(接道あり)								0	21	40	98	121	104	123	118	111	109	106	76	63	72	1162	
		除却(未接道)												8	8	14	9	12	11	2	6	7	7	84	
		小計	0	0	5	12	18	29	26	35	111	116	146	149	126	148	133	129	120	109	84	75	82	1653	
	木造共同住宅	改修(旧耐震)							1	1	4	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
		改修(新耐震)																				0	0	0	
		建替								7	9	11												27	
		除却(接道あり)							1	17	23	32	35	30	41	22	37	30	14	16	11	11	309		
		除却(未接道)											0	2	3	1	1	2	1	0	1	3	14		
		小計	0	0	0	0	0	0	1	9	30	38	37	41	33	42	23	39	31	14	17	14	369		
	改修	改修(旧耐震)	0	0	5	12	8	14	14	10	31	33	21	24	18	11	6	6	0	1	2	5	0	221	
		改修(新耐震)																				0	3	3	
		建替	0	0	0	0	10	15	12	26	67	56	42	1										229	
		除却							0	22	57	121	153	139	153	159	133	146	136	90	79	83	1471		
		未接道											8	10	17	10	13	13	3	6	8	10	98		
		計	0	0	5	12	18	29	26	36	120	146	184	186	167	181	175	152	159	140	98	92	96	2022	
	非木造住宅	改修				0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		マンション								0	1	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	1	9	
特定緊急		改修							0	0	0	5	6	6	3	1	3	1	2	1	0	3	31		
		建替							0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4		
		除却							0	0	1	3	2	3	1	0	1	0	1	0	1	1	14		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9	9	4	2	5	1	4	1	1	4	49				
一般緊急	改修							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2			
計		—	0	5	12	18	29	26	36	123	148	192	195	178	187	177	158	160	145	100	94	101	2084		
30万円加算	改修														0	3	1	0					4		
	除却														19	18	33	28					98		
シタ-	品川シェルター						1	0	2	8	2	1	0	4	1	1	1	0	0	1	0	0	22		
	耐震シェルター				0	1	0	0	0	4	0	0	1										6		
耐震化アドバイザー派遣(棟数)	(派遣回数)				0	11	4	2	11	12	10	5	8	5	2	3	2	1	0	4	2	4	86		
					0	13	4	2	14	15	11	5	8	5	2	4	2	1	0	5	4	6	101		

### 参考3 住宅・建築物耐震化支援事業の変遷

年度	助成内容
平成 16 (2004)年度	【耐震診断助成 開始】 ・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 6 万)
平成 18 (2006)年度	【耐震改修助成 開始】 ・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 75 万)
平成 19 (2007)年度	【耐震診断助成 開始】 ・木造共同住宅 : 補助率 1/2 (上限 12 万) ・非木造住宅 : 補助率 1/2 (上限 10 万) ・分譲マンション : 補助率 1/2 (上限 150 万) ・緊急輸送道路沿道建築物 : 補助率 2/3 (上限 200 万)  【耐震改修助成 開始】 ・木造共同住宅 : 補助率 1/3 (上限 300 万) ・非木造住宅 : 補助率 1/2 (上限 100 万)  【建替え助成 開始】 ・木造戸建て住宅 : 補助率 10/10 (上限 75 万)
平成 20 (2008)年度	【耐震シェルター助成 開始】 ・都選定シェルター : 補助率 10/10 (上限 30 万) 【耐震化アドバイザー派遣 開始】
平成 21 (2009)年度	【品川シェルター助成 開始】 ・品川シェルター : 補助率 10/10 (上限 30 万)
平成 22 (2010)年度	【建替え助成 開始】 ・木造共同住宅 : 補助率 10/10 (上限 300 万)  【品川シェルター助成 拡充 (助成額)】 ・品川シェルター : 補助率 10/10 (上限 50 万)

年度	助成内容
平成 23 (2011)年度	<p>【無料簡易診断 開始】</p> <p>【耐震診断助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路沿道建築物 : 補助率 10/10 (上限 300 万)</li> </ul> <p>【耐震補強設計助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 20 万)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 1/2 (上限 20 万)</li> <li>・非木造住宅 : 補助率 1/2 (上限 20 万)</li> <li>・分譲マンション : 補助率 1/2 (上限 100 万)</li> <li>・緊急輸送道路沿道建築物 : 補助率 2/3 (上限 200 万)</li> </ul> <p>【耐震改修助成 拡充 (補助率・上限)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 150 万)</li> <li>・非木造住宅 : 補助率 10/10 (上限 150 万)</li> </ul> <p>【耐震改修助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲マンション (大規模) : 補助率 1/3 (上限 2,500 万)</li> <li>・緊急輸送道路沿道建築物 : 補助率 2/3 (上限 2,500 万)</li> </ul> <p>【建替え助成 拡充 (上限)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 10/10 (上限 150 万)</li> </ul> <p>【品川シェルター (要件緩和)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「65 歳以上の高齢者のみの世帯」 → 「65 歳以上の高齢者のいる世帯」</li> <li>・年間世帯所得「200 万未満」 → 「600 万未満」</li> </ul> <p>【除却助成 開始 (一部地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 150 万)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 1/3 (上限 300 万)</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">対象地域 : 整備地域および新防火区域</p> <p>【耐震診断助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会会館 : 補助率 1/2 (上限 6 万)</li> </ul> <p>【耐震診断助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 25 年度まで</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">※「助成対象費用」以下「費用」とする</p> <p style="padding-left: 40px;">分譲マンション : 費用全額</p> <p style="padding-left: 40px;">10,000 m<sup>2</sup>以下 : 費用全額</p> <p style="padding-left: 40px;">10,000 m<sup>2</sup>を超え 15,000 m<sup>2</sup>以下 : 費用×1/3+770 万</p> <p style="padding-left: 40px;">15,000 m<sup>2</sup>を超え : 費用×4/5</p>

年度	助成内容
平成 24 (2012)年度	<p>【耐震補強設計助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 26 年度まで <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 300 万以下 : 費用×5/6</li> <li>費用 300 万を超え 600 万以下 : 費用×1/2+100 万</li> <li>費用 600 万を超え : 費用×1/3+200 万</li> </ul> </li> </ul> <p>【耐震改修/除却/建替え助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 27 年度まで <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 3,750 万以下 : 費用×5/6</li> <li>費用 3,750 万を超え 7,500 万以下 : 費用×1/2+1,250 万</li> <li>費用 7,500 万を超え : 費用×1/3+2,500 万</li> <li>※5,000 m<sup>2</sup>を超える部分 : 費用×1/6</li> </ul> </li> </ul> <p>【除却助成 拡充 (補助率 10/10 の対象地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 : 補助率 10/10 対象地域 : 二葉 3 丁目、豊町 5 丁目</li> </ul>
平成 25 (2013)年度	<p>【除却助成 拡充 (補助率 10/10 の対象地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 : 補助率 10/10 対象地域 : 豊町 4・5・6 丁目、二葉 3・4 丁目、西大井 6 丁目、東中延 1・2 丁目、旗の台 4 丁目、中延 2・3・5 丁目 ※その他の対象地域は補助率の変更なし</li> </ul> <p>【耐震診断・耐震補強設計・耐震改修助成 拡充 (対象条件拡大)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲マンション 対象条件 : 啓開道路沿道の地上階数 3 以上 (1000 m<sup>2</sup>未満含む) 分譲マンション</li> </ul>
平成 26 (2014)年度	<p>【除却助成 拡充 (対象条件)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 対象条件 : 未接道の住宅を追加</li> </ul> <p>【除却助成 拡充 (補助率 10/10 の対象地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 : 補助率 10/10 対象地域 : 小山台、小山 1~6、荏原 1~6、西五反田 4~6・8、平塚、中延、西中延、東中延、旗の台 1 (一部)・2~5、戸越、豊町、二葉、大崎 2~4、大井 1~5・7 (一部)、西大井 1・2・3 (一部)・4 (一部)・5・6、東大井 5 (一部)・6、西品川 2・3、南品川 4・5 ※これで助成対象地域の全域で補助率 10/10 (整備地域および新防火区域)</li> </ul> <p>【耐震診断助成 制度変更・期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 26 年度まで <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ面積が 3,000 m<sup>2</sup>以下 : 補助率 10/10</li> <li>延べ面積が 3,000 m<sup>2</sup>を超え : 補助率 5/6</li> </ul> </li> </ul> <p>平成 27 (2015) 年 3 月 31 日まで一年間延長</p>

年度	助成内容
平成 27 (2015)年度	<p>【耐震補強設計助成 拡充 (補助率・上限)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲マンション : 補助率 2/3 (上限 200 万)</li> </ul> <p>【除却助成 拡充 (対象地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 : 補助率 10/10 対象地域: 大井 7、西大井 1~6</li> </ul> <p>【耐震診断助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 27 年度まで 平成 28 (2016) 年 3 月 31 日まで一年間延長</li> </ul> <p>【耐震補強設計助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 27 年度まで 平成 28 (2017) 年 3 月 31 日まで一年間延長</li> </ul>
平成 28 (2016)年度	<p>【耐震シェルター助成 制度変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震シェルター助成を品川シェルター助成に一本化</li> </ul> <p>【耐震診断助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 28 年度まで 平成 29 (2017) 年 3 月 31 日まで一年間延長</li> </ul> <p>【耐震補強設計・改修/除却/建替え助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※平成 30 年度まで 平成 31 (2019) 年 3 月 31 日まで一年間延長</li> </ul>
平成 29 (2017)年度	<p>【除却助成 拡充 (上限 30 万円加算・一部地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 10/10 (上限 180 万)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 10/10 (上限 330 万) 対象地域: 小山 2、中延 5、旗の台 4、戸越 1・2・4、豊町 5、二葉 3、大井 2、西品川 2・3</li> </ul> <p>【耐震改修助成 拡充 (上限 30 万円加算・一部地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 180 万)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 1/3 (上限 330 万) 対象地域: 小山 2、中延 5、旗の台 4、戸越 1・2・4、豊町 5、二葉 3、大井 2、西品川 2・3</li> </ul> <p>【耐震診断助成 終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物</li> </ul>

年度	助成内容
平成 30 (2018)年度	<p>【耐震診断助成 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模マンション：延べ面積 1,000 m<sup>2</sup>未満、3 階建以上の分譲マンション（啓開道路沿道を除く） <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断 : 補助率 1/2 (上限 100 万円)</li> <li>耐震補強設計 : 補助率 2/3 (上限 100 万円)</li> <li>耐震改修工事 : 補助率 1/3 (上限 1,000 万円)</li> </ul> </li> </ul> <p>【耐震補強設計助成 拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 600 万円以下 : 費用×5/6</li> <li>費用 600 万円以上 1,200 万円以下 : 費用×1/2+200 万円</li> <li>費用 1,200 万円以上 : 費用×1/3+400 万円</li> </ul> </li> </ul> <p>【耐震改修/除却/建替え助成 拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 7,500 万円以下 : 費用×5/6</li> <li>費用 7,500 万円以上 15,000 万円以下 : 費用×1/2+2,500 万円</li> <li>費用 15,000 万円以上 : 費用×1/3+5,000 万円</li> </ul> </li> </ul>
令和元 (2019)年度	<p>【耐震補強設計・耐震改修/除却/建替え助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※令和 4 年度まで 令和 5 (2023) 年 3 月 31 日まで延長</li> </ul> <p>【耐震補強設計・耐震改修・建替え・除却助成 拡充 (助成単価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物 : 51,200 円/m<sup>2</sup>以内かつ、1 棟 512,000,000 円以内</li> <li>マンション : 50,200 円/m<sup>2</sup>以内かつ、1 棟 502,000,000 円以内</li> <li>住宅 : 34,100 円/m<sup>2</sup>以内かつ、1 棟 341,000,000 円以内</li> </ul> </li> </ul>
令和 2 (2020)年度	<p>【全体設計制度 開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲マンション</li> <li>・一般緊急輸送道路沿道建築物</li> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 内容：工期が複数年度にわたる申請を助成対象とする</li> </ul> <p>【耐震診断助成 拡充 (助成額)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 1/2 (上限 7.5 万円)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 1/2 (上限 13.5 万円)</li> </ul> <p>【耐震改修・除却助成 変更 (助成額 30 万円加算終了)】</p> <p>一部地域で行っていた助成額 30 万円加算を終了</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅 : 補助率 10/10 (上限 150 万)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 10/10 (上限 300 万)</li> </ul>

年度	助成内容
令和3 (2021)年度	<p>【耐震補強設計助成 拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 600 万円以下 : 費用×10/10</li> <li>費用 600 万円超え 1,200 万円以下 : 費用×2/3+200 万円</li> <li>費用 1,200 万円超え : 費用×5/12+500 万円</li> </ul> </li> </ul> <p>【耐震改修/除却/建替え助成 拡充 (補助率・Is 値 0.3 未満加算)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 <ul style="list-style-type: none"> <li>費用 7,500 万円以下 : 費用×9/10</li> <li>費用 7,500 万円超え 15,000 万円以下 : 費用×17/30+2,500 万円</li> <li>費用 15,000 万円超え : 費用×11/30+5,500 万円</li> </ul> </li> <li>※Is 値 0.3 未満の建築物への加算 <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ面積 5,000 m<sup>2</sup>以下 : 費用×1/6+2,000 円</li> <li>延べ面積 5,000 m<sup>2</sup>超え : 費用×1/12</li> </ul> </li> </ul> <p>【耐震補強設計・耐震改修/除却/建替え助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※令和5年度まで 令和6(2024)年3月31日まで一年間延長</li> </ul>
令和5 (2023)年度	<p>【耐震診断・耐震補強設計・耐震改修助成 拡充 (対象拡大)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 対象条件: 新耐震基準の木造住宅を追加</li> </ul> <p>【耐震補強設計・耐震改修/除却/建替え助成 期間延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定緊急輸送道路沿道建築物 ※令和7年度まで 令和8(2023)年3月31日まで延長</li> </ul>
令和6 (2024)年度	<p>【耐震診断助成 拡充 (上限)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅: 補助率 10/10 (上限 15 万円)</li> <li>・木造共同住宅 : 補助率 10/10 (上限 27 万円)</li> <li>・非木造住宅 : 補助率 1/2 (上限 80 万円)</li> </ul> <p>【耐震補強設計助成 拡充 (上限)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非木造住宅 : 補助率 1/2 (上限 80 万円)</li> </ul> <p>【除却助成 拡充 (対象地域)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造戸建て住宅/木造共同住宅 対象地域: 区内全域</li> </ul>

年度	助成内容
<p>令和7 (2025)年度</p>	<p> <b>《木造住宅耐震加速化パッケージ》</b>  <b>【総合支援メニュー助成 開始（耐震補強設計+耐震改修）】</b>  <b>耐震補強設計・耐震改修助成の同時申請（助成率・上限 拡大）※令和9年度まで</b>            ・木造戸建て住宅：補助率 2/3（設計費+工事費）（上限 400 万円）            ・木造共同住宅：補助率 2/3（設計費+工事費）（上限 600 万円）   <b>【耐震補強設計助成 拡充（上限）】※令和9年度まで</b>            ・木造戸建て住宅/木造共同住宅：補助率 1/2（上限 30 万円）   <b>【耐震改修助成 拡充（補助率、上限）】※令和9年度まで</b>            ・木造戸建て住宅：補助率 1/2（上限 300 万円）            ・木造共同住宅：補助率 1/2（上限 450 万円）   <b>【除却助成 拡充（上限）】※令和9年度まで</b>            ・木造戸建て住宅：補助率 10/10（上限 200 万円）   <b>【耐震診断助成 拡充（上限）】</b>            ・木造戸建て住宅：補助率 10/10（上限 25 万円）   <b>【品川シェルター助成 拡充（対象条件）】</b>            対象条件：新耐震基準の木造住宅を追加  <b>助成対象者の要件緩和</b>            （高齢者・障害者世帯制限または世帯所得制限の撤廃）   <b>【耐震改修・建替え・除却助成 拡充（助成単価）】</b>  <b>特定緊急輸送道路沿道建築物</b>            ・建築物：57,000 円/㎡以内かつ、1 棟 570,000,000 円以内            ・マンション：51,700 円/㎡以内かつ、1 棟 517,000,000 円以内            ・住宅：39,900 円/㎡以内かつ、1 棟 399,000,000 円以内         </p>
<p>令和8 (2026)年度 (予定)</p>	<p> <b>【耐震補強設計・耐震改修・総合支援メニュー助成 拡充（補助率）】</b>            ・木造戸建て住宅/木造共同住宅：補助率 10/10  <b>対象条件：65 歳以上の高齢者、障害者、要介護者等居住世帯</b> </p>